



なかよし保育園  
令和5年6月 NO.2

めろん組になって、3カ月が過ぎようとしています。園庭で鬼ごっこや虫探し、泥団子づくりといった自然に触れて遊ぶ姿や、室内ではルールのあるドッジボールの他に製作遊びを楽しんでいます。その中で、友達に自分の思いや考えを伝え、友達と気持ちが合うこともあります。思いの違いからいざこざになることもあります。子ども達の気持ちを受け止め、互いの思いを伝え合うようにし、自分とは違う思いを知る経験を大切にしたいと思っています。自分を受け止めてもらうことで、今度は友達を受け入れることができるようになり、友達同士の関わりが深まっていきます。これからも経験を積み重ねて、相手にも思っていることや言いたいことがあることに気付いていくことができるようにしていきたいです。

スーパーマリオワールド  
づくり

5月末に、西小学校の運動会の予行に見学に行きました。去年のめろん組の友達の様子を見つけて嬉しそうに呼びかけていました。

小学生の応援合戦でスーパーマリオの応援劇を見ると大喜びでした。

僕たちもつくりたいなあ～

それから、小学校で見たものを少しずつ思い出し、考えてマリオワールドをつくっています。「マリオは車に乗っていた」と思い出してマリオの車をつくり始めます。友達がつくっていると、「私も車が欲しい」とマリオの車だけではなく、ピーチ姫の車などたくさんできました。そして、今度はマリオの帽子やピーチの衣装、アイテム…様々なものをつくりはじめました。



マリオのくるま!



つくったもので、  
マリオみたいに遊び  
たいー!



マリオ!ぴこーん!



どうやって遊ぶか相談中



ここでアイテム  
とします



ぼくだんに  
あたったらどう  
すれはいいの?

小さいピーチ  
になるんだよ

マリオワールドづくりや遊びで友達と自分の思いや考えを出し合う姿や場面を大切にし、見守ったり一緒に考えたりして遊びを進めています。また、いざこざになった時には必要に応じて保育者等が仲立ちとなりながら、少しずつ園児同士で解決することができるように手立てを知らせたり一緒に考えたりしています。保育者に「どうしたらいい?」と相談に来ることも多いですが、自分たちで遊びを進めることの楽しさを感じ始めています。

泥んこ遊び

水や砂、泥などの性質や特徴を生かしながら開放的に遊び、身近な素材や用具を使って工夫しながら遊んでいます。ウォータースライダーをすると、大胆に築山を滑り泥田にダイブします。楽しそうなめろん組の姿を見た年下の友達も築山に登り始めます。その姿に気付き一緒に遊び始めました。年下の友達が喜んでいることが、めろん組も嬉しそうでした。

やりたいんか?  
おいで!

